

大切な人

私の大切な人は、七十二才で漁師を  
している。私の大切な人は、七  
十二才で漁師をしている。中  
学生の時から、リズムじい  
ちゃんです。中学生の時から、  
学校に通いながら家の漁師の  
手伝いをしたり、家族のため  
に頑張って働いてきたので、  
肩や腕や足が痛く、たまに私  
が背中をいとおく言います。  
だから、たまに私が背中をい  
ふむマッサージをしてあげると、  
とても気持ちいいし、喜んで  
くれます。海の上で働くので、  
赤黒く日焼けして、体は、太  
っていても、太っていても、  
手は、ぶ厚くゴツゴツして、  
います。でも、その手で、私  
のため、に、竹とんぼや紙飛行  
機やゴム釣竿など、色々な物  
を作ってくれます。時々、料  
理も作ってくれます。私は、  
じいちゃんや、人が作ってく  
れるオムライスが大好きです。  
ほっぺが落ちそうなくらい、  
おいしく、食べて、ジーンと  
幸せな気持ちになります。

四年

A

組  
名前

中原

とくり

年

組  
名前

私はじいちゃんを作ってくれた釣りざおで  
魚釣りをしながらじいちゃんの子供の時の  
話を聞いたたり私の学校での話をしたりする時  
が楽しいです。私がたくさん魚を釣ると、私  
が男の子だ。たら後つぎにするのにとじいち  
やんはほめてくれます。私は本当にうれしく  
なります。じいちゃんは大好きなビールを飲  
むと必ず「孫」を、私の名前に変えて歌いま  
す。あまり上手じゃないけど優しい顔で歌う  
じいちゃんが私大好きです。じいちゃんは  
、どんなに疲れていても私のための事は何で  
もしてくれます。そして何よりも私の事を一  
番に考えてくれて味方になってくれます。私  
はこんな優しいじいちゃんが世界一大好きです。  
この先じいちゃんが年をとってきたら手を  
つないで散歩をしたりご飯を作って食べさせ  
たりしてお世話をしたいです。これからもず  
うとずうと一緒になりたいです。だから長  
生きしてね。じいちゃん。